



1:2:7

— 好きと嫌い —

校長 鈴木 英 顕

みなさんは、「好き嫌い」はありますか。食べ物ではありません。人に対する好き嫌いです。全くないという人はいないのではないのでしょうか。よほどの聖人君子（せいじんくんし）でない限り、ありとあらゆる人を全く平等に好きになるなどあり得ないと思います。十人十色（じゅうにんといろ）という言葉があります。人の好みや考え方、なりふりなど一人一人がみな違うという意味です。十人いれば十のカラーがあるということです。

世の中には、いろいろな人がいます。全く同じ人間というのは存在しません。いろいろな人がいるのだから、その中で好きになれる人と好きになれない人がいるのは当然のことでしょう。自分にとって都合の良い人は好きになり、自分にとって都合の悪い人は嫌いになるなんてこともあります。食べ物に好き嫌いがいない方がいろいろな料理を味わえるので、食べることが楽しくなります。同じように、人に対しても好き嫌いがいない方が人間関係は楽しくラクになります。自分の周りに嫌いな人がいたらストレスはたまるし、楽しく過ごせません。心は安心できず憂鬱（ゆううつ）になります。逆に周りにいる人が好きな人ばかりだったら、居心地はいいし、気分もよいでしょう。嫌いな人はいないほうがいい。好きな人は多いほうがいい。それが理想です。

ところで、人を嫌いになって一番損をするのは誰でしょう。それは、他ならぬ自分なのです。嫌いな人がいた場合、その人に対して悪口や愚痴（ぐち）、陰口をたたくこともあるでしょう。人を嫌いになると、その人のことが憎らしくなって、意地悪をしたり、嫌がらせをしたり、あからさまに無視をしたりします。そのことで気が晴れると思っているかもしれませんが、全く逆で自分の気分を自分で害しているのです。実は人を嫌いになって一番苦しむのは自分なのです。

では、人を嫌いになってはいけなんでしょうか。今までのことと矛盾（むじゆん）していますが、「人を嫌いに感じて仕方がないこと」だと思っています。これは、嫌いになることを勧めているわけでは決してありません。誰かを嫌いになるということは感情のことなので、ある意味どうしようもないことかもしれません。「嫌い」という感情に蓋をすることはできないので、嫌いな人を無理やり好きになる必要はありません。「人を嫌いになってもいい」なんておかしなことを、と思うでしょう。しかし大切なのは・・・

嫌いだからと言って、その人に害を及ぼすようなことをしてはいけません。そして、嫌いな人とも上手に付き合っていかなければいけない。嫌いなままでもよいので、その人のことをしっかりと認めるのです。お互いが損をしたり傷つけ合ったりすることなく、上手な関係を築くのです。大人になるとはそういうことです。大人になって社会に出ると、気の合わない人とチームを組んで仕事をするのも当たり前のようになります。嫌いな人とうまく折り合いをつけながら、あるいはある程度の距離を置きながら上手に付き合うということはとても大切な能力なのです。

「1 : 2 : 7」の法則。これは、10 人の人がいるとしたら、そのうちの 1 人はあなたを批判したり、あなたを嫌ったり、こちらもその人のことを好きになれない人。10 人のうちの 2 人は、互いに全てを受け入れ合える親友になれる人。残りの 7 人は、どちらでもない人。いろいろな性格や考え方の人がいます。あなたと気の合う人もいれば、気の合わない人もいます。ですから、「全員と気が合う」ということもなければ、「全員と気が合わない」ということもありません。「誰からも嫌われない」とか「全員と仲良くする」というのはとても難しいことです。あなたを嫌う人の 2 倍、好意的な人がいるし、まったく嫌っていない人、むしろ理解している人がその 7 倍もいるということです。

◆写真はいずれも、離任式の一コマです。本文には関係ありません。



三中の学校生活

離任式



5月2日(金)午後、離任式を行いました。
代表生徒から温かなメッセージと花束を贈り、離任された皆様からお別れの言葉をいただきました。

各先生からいただいたお言葉の一部を紹介します。

小川先生「通勤で『滝の沢』を通るたびに、三中のよさを改めて感じています。バドミントン部からいただいた色紙が、元気の源として宝物です。」

林先生「三中の校舎はきれいで素晴らしいと改めて思いました。また、3年生、2年生のしっかりと成長した姿を今日見ることができてよかった。」

小竿先生「授業を大切にしてほしい。また、皆さんと接している時間は決して長くはありませんでしたが、とてもよい思い出になりました。」

清宮先生「三中のサッカー部顧問として、サッカー部員が主体性をもって活動していたことに、改めて主体的に行動することが大切だと感じました。」

岩館先生「三中の『5つの大切』は、とてもよい言葉です。なかでも、私は『自分』を一番大切と考えてほしいです。自分を大切にできる人は、周りの人も大切にできるからです。」

セーフティ教室

5月8日(木)6校時、体育館にてセーフティ教室を実施しました。中学生にも広く普及しているスマートフォンは、便利なツールであると同時に正しい使い方を知らないと思わぬトラブルや被害に巻き込まれ、場合によっては加害になる可能性も否定できません。被害にも加害にもならないよう、専門の講師を招いて貴重な話を聞く機会になりました。

避難訓練

5月9日(金)4校時、地震を想定した避難訓練を実施しました。

生徒及び教職員の意識を高め、避難経路の確認、円滑な避難と集合、点呼を実践、地震から身を守る行動などをねらいとしています。

地域と一緒に

三中は体育大会に向けて、12日から本格的な練習が始まりました。それに先立って、5月9日(金)放課後、体育大会実行委員はご近所のお宅を1軒1軒ご挨拶に伺っていました。

例年、応援の声や掛け声、スピーカーの音などで、いつも以上に騒々しくなり、ご迷惑をおかけしていることに恐縮しておりましたが、地域の皆様は好意的に見守ってくださっていると分かり、大変ありがたく存じます。



■ 各種警報等の発表に伴う登下校の対応について

○各種警報等の発表に伴う登校の対応について(町田市立全小中学校共通)

(1) 午前7時の時点で以下のいずれか1つでも発表が出ている場合は休校とします。

- ①「特別警報(大雨・大雪・暴風・暴風雪)」 ②「暴風警報」
③「暴風雪警報」 ④「大雪警報」

(2) 「暴風警報」を伴わない「大雨警報」「洪水警報」の場合は、通常通りの登校とします。

○登校後に警報等が発表された場合の対応について

登校後に①「特別警報(大雨・大雪・暴風・暴風雪)」②「暴風警報」

③「暴風雪警報」④「大雪警報」が発表された場合には、下校時間を変更するなどの可能性があります。

その際は、teturu等でご家庭にご連絡いたします。

※上記は、町田市または町田市が含まれた地域に発表された警報等が該当します。

6月のおもな予定

- 6月 2日(月) 振替休業日(体育大会順延日)
- 6月 3日(月) 体育大会順延日
- 6月 6日(金) 教育実習(第1次終)
- 6月 9日(月) 小中交流会
- 6月 12日(木) 常任委員会
- 6月 13日(金) 中央委員会
- 6月 16日(月) 生徒会朝礼、安全指導
- 6月 17日(火) 進路説明会(3年)
- 6月 18日(水) TGG(1年)
- 6月 19日(木) 避難訓練
- 6月 23日(月) 全校朝礼
- 6月 25日(水) 定期考査(~27日)

